

# 高圧注入プラグ

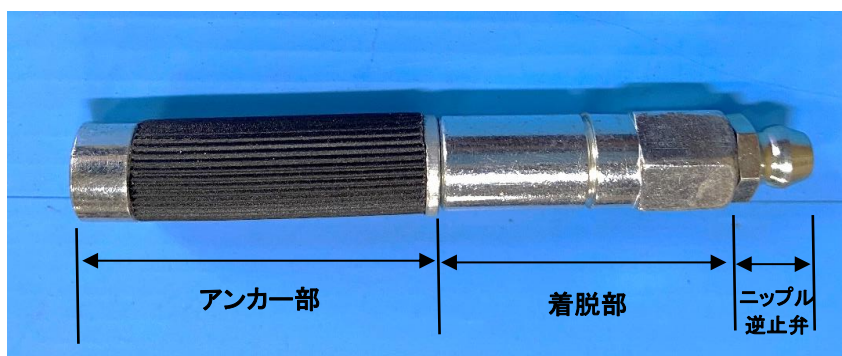
コンクリート構造物の亀裂や打ち継ぎ、ジャンカ部のエポキシ樹脂注入工法に用いられる、高圧注入プラグです。コンクリートへの固定や取り外しが容易で、かつ、耐圧性能に優れています。さらに、注入ポンプを用いて、エポキシ樹脂を連続して多量に注入することが可能です。

## 特長

- 直径10mm程度の削孔で取り付け可能なので、躯体に大きな傷を与える心配がありません。
- 逆止弁が付いているので、注入液が逆流することはありません。
- 耐圧性能に優れ、注入液を躯体内部へ確実に充填できます。
- 注入ポンプを使って、大量の注入液を連続的に充填できます。
- コンクリートへの締め付け固定や取り外しが容易にできます。
- 低粘度から高粘度まで、多種多様なエポキシ樹脂に対応可能です。

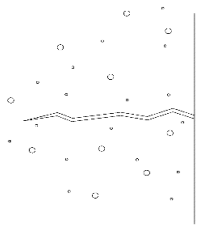
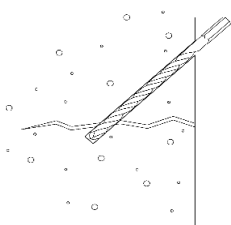
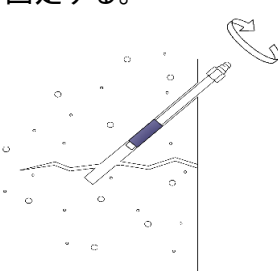
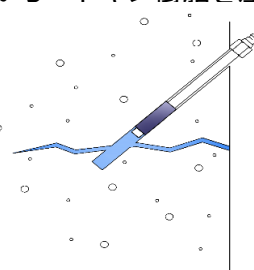
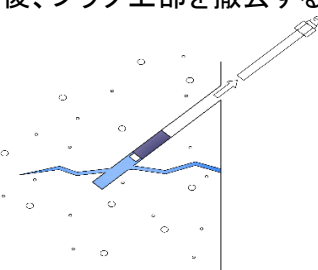
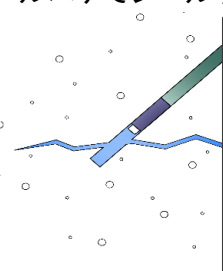
## 用途

- 機械基礎コンクリートのひび割れ、打ち継ぎ、アンカーボルトの注入補修
- 道路橋増厚床版の剥離や水平ひび割れの注入補修
- 大型コンクリート構造物のひび割れや打ち継ぎの注入補修



サイズ :  $\phi 10 \times 80\text{mm}$

## 施工手順

- ① 削孔位置決め  
損傷の状況により注入孔の位置及び深さを決定する。  

- ② 注入孔削孔  
損傷部分を貫通する注入孔φ10.5を削孔し、孔内をエアブローする。  

- ③ 注入プラグ固定  
注入プラグをセットし、締め付け、コンクリートへ固定する。  

- ④ 注入  
注入プラグからエポキシ樹脂を圧入する。  

- ⑤ 注入プラグ除去  
充填液硬化後、プラグ上部を撤去する。  

- ⑥ 仕上げ  
凹部をセメントモルタル又はエポキシシーラパテでシールする。  


## 注入補修用エポキシ樹脂接着剤の種類

- 「アルファテック300」 低粘度エポキシ接着剤
- 「アルファテック330」 耐熱性エポキシ接着剤
- 「アルファテック340」 水中硬化型／低粘性エポキシ接着剤
- 「アルファテック344」 水中硬化型／高粘性エポキシ接着剤
- 「アルファテック370」 油濁コンリート用エポキシ接着剤
- 「アルファテック380」 浸透性エポキシ接着剤

◇詳細は、各製品のカタログをご参照ください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませよう願ひ致します。

## 注意事項

- ・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行って下さい。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹼水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたってはSDSをお読み下さい。

**アルファ工業株式会社**  
**ALPHA KOGYO K.K.**

横浜 本社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550  
URL: <https://www.alpha-kogyo.com> / E-mail: [alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp](mailto:alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp)  
1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN  
神戸事業所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282  
6-3-3 ASHIHARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN